

BVE TEL H 通信

2016年8月号 (第157号)

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 TEL089-925-5000
ホームページ <http://www.bethel.or.jp/>

あるヒヤリハット報告から

私は毎週金曜日に病棟を離れ、医療安全管理室で医療安全に関する仕事を、お手伝いすることになりました。

その一つに転倒転落のカンファレンスがあり、まだ数回の参加ながら、患者さんの尊厳を守りつつ事故を起こさない対策を立てることの難しさを痛感しています。患者さんの動きの制限は最小限に、でも転倒転落はしないように。どこで折り合いをつけられたいのだろう・・・。対策に行き詰ることもあります。

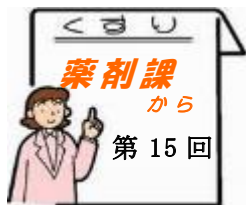
転倒転落事故の原因は様々あると考えます。「患者さんの行動が予測できなかった。」「他患者さんのナースコール対応で傍を離れてしまった。」「転倒予防センサーマットのスイッチを入れ忘れた。」患者さんが「一人でもできると思った。」などなど。それに対する対策も離床センサーや離床マット、ウーゴ君といった感知式のナースコールが検討されます。安全を守るため多くの転倒転落の危険に対応するには必要な当然の対策だと考えていました。

そんな中、あるヒヤリハット報告に目が留まりました。トイレに行こうと思って転倒した患者さんの対策として、患者さんの意思を尊重し、トイレ時間を把握して、言われる前にトイレへ誘導する。というものでした。ちょうどいい時間に「トイレへ行きますか？」と声をかけてくれたら、この患者さんは嬉しかっただろうなあ。ベテル病院らしい・・・なんて優しい対策だろう。危険な行動を見つけたら、まず転倒予防のセンサーやマットなどの設置を検討していましたが、その前にできることがあると考えさせられました。

患者さんの立場に立ってその人の意思を尊重しつつ安全を確保するのは難しく、転倒転落を予防するのに機器の設置も必要なことだと思います。しかしその前にその方の思いを聴き行動を予測して危険行動の前に援助する。それが看護のできる一番の対策だと思います。このヒヤリハット報告の対策のように、その人を尊重した対応を心がけ、人に優しい対策が立てられるよう努力していきたいと思います。



(2階東病棟 看護主任 畑部 美保)



外用剤による光線過敏症

(Part 1)

『光線過敏症』という症状をご存知ですか？

光線過敏症とは皮膚に付着した薬物に対する光線過敏（光アレルギー性、あるいは光毒性）反応です。光アレルギー反応は光接触感作の成立によって発症するため、すべての人に生じるわけではありません。その薬物が吸収する作用波長の光が十分量照射されることによって発症します。



今回は、「モーラステープ」と光線過敏症の関係についてお話します。

↑ ケトプロフェンによる
光アレルギー性接触皮膚炎症候群

モーラステープは、肩や腰が痛いときなど、整形外科などではよく処方される湿布薬です。痛みを抑えたり、炎症を和らげる成分が含まれており、この成分を「ケトプロフェン」と言います。モーラステープの場合は、主成分である「ケトプロフェン」が光線過敏症を起こしやすいと言われていています。この症状は、外用部位の光線過敏状態が1～2ヶ月続くことがあるため、薬を使い終わって数ヶ月経ってから生じることもあります。

しかし、ほとんどのケースが使用中か、使用から4週間以内に起こります。そのため、薬の使用から使用後4週間程度は、紫外線に当てないようにする必要があります。

「ケトプロフェン外用剤による光線過敏症に係る安全対策」には下記のように記載してあります。

「使用中は天候にかかわらず、戸外の活動を避けるとともに、日常の外出時も、本剤貼付部を衣服、サポーター等で遮光すること。なお、白い生地や薄手の服は紫外線を透過させるおそれがあるので、紫外線を透過させにくい色物の衣服などを着用すること。また、使用後数日から数ヶ月を経過して発現することもあるので、使用後も当分の間、同様に注意すること。異常が認められた場合は直ちに本剤の使用を中止し、患部を遮光し、適切な処置を行うこと」

光線過敏症は、通常の接触性皮膚炎とは異なり、光に当てなければ症状は起きません。紫外線に当てないことで予防できる副作用ですので、面倒と思わず、使用方法を守って効果的に湿布を使用しましょう。

次回は内服薬を服用後に、日が当たった皮膚に発疹ができる光線過敏型薬疹についてお話しします。

（薬剤師 井上 純子）

参考文献：医薬品・医療機器等安全性情報 No.276
大日本住友製薬ホームページ
マルホ皮膚セミナー より

外来からのお知らせ

◎ 8月15日(月)は全科休診です。 ※急変時にご連絡下さい。
 なお、マイクロバスは全便運休となります。

◎ 8月の休診(7月23日現在)

8月5日(金) 外科 中橋 恒 医師

◎ 8月の豊田 泰孝 医師(精神科・心療内科)外来診療日のお知らせ
 8月3日(水)、8月17日(水)、8月31日(水)

【7月のチャペル行事より】



7/6(水) ♪ゴスペルのコンサート♪
 ～ステラゴスペルの皆様～

アメージンググレイス、夏の思い出、上を向いて歩こう等、たくさんのプログラムを歌っていただきました。ゴスペルとは…という説明と共に、チャペルに初夏の音色が響きました。

講演会のお知らせ



2016年度松山ベテル病院後援会主催の講演会を下記の日程で行います。

【テーマ】「いのちへのまなざし
 ～神経難病の診療から～」

【講師】西川 典子氏

【日時】9月10日(土)午後2時開演

【場所】日本キリスト教団 松山教会

【お問合せ】松山ベテル後援会事務局

☎ 089-925-5000 (代表)

※お申込みは不要です。



絵扇の

こぼる机上に
 (正子)

しじまかな

愚陀仏庵の
 梅雨木立ち
 (平岡 恵風)

水田の

さぐなみ涼し
 青き列
 (和代)

初めての

プールのふちに
 つかまり立ち
 (河田 和子)

梅雨晴れや

あれこれ洗濯
 どころ干そう
 (じゅんこ)

土地選び

あじさいの花
 青や赤
 (門田 節子)



ベテル旬会

投句箱は受付・各病棟・5階リハビリ室に設置しています。皆様のご投句をお待ちしております。

『ベテル通信』についてのご意見やご要望をお待ちしております。

発行日 2016年7月25日